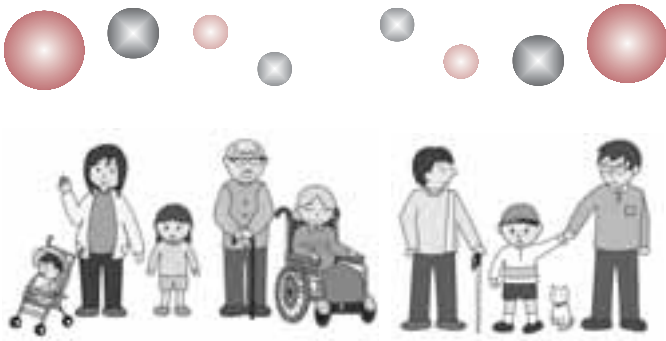


ソフト施策の充実と心のバリアフリー推進 —すべての人に優しいまちづくり—

問い合わせ 都市計画課 ☎38-2073



阪神芦屋駅・市役所周辺地区は兵庫県からユニバーサル社会づくり推進地区として指定され、平成二十一年三月に、芦屋市ユニバーサル社会づくりモデル事業プランを策定しました。
目標期間を平成二十五年度までとし、ユニバーサル社会づくりの取り組みを進めています。
平成二十一年十一月六・七日に開催された「第二回あしや市民フェスタ」にも出展し、「まちの魅力探しゃアンケート」や視覚障がい者誘導用ブロック点字ブロックについての啓発などを実施しました。

ユニバーサル社会づくり

推進地区協議会

障がいの有無や年齢などにかかわらず、誰もが同じ地域社会で生活する者として、主体的に生き、社会の支え手となるユニバーサル社会の構築が求められています。

このユニバーサル社会づくりに向けて、市民・地域団体・企業・行政など地域社会を構成するすべての人が力を合わせ、一体となって進めていく必要があります。

協議会の構成

自治会（公光町・大槻町・茶屋之町）
本通商店会・芦屋三八会・あしやNPOセンター・商工会
関係行政機関から選出されたかた

芦屋市交通バリアフリー推進連絡会

基本構想に関する情報交換や相互間の連絡調整を行い、位置付けられた事業を推進するため、「芦屋市交通バリアフリー推進連絡会」を設置し、段階的・継続的な取り組みを進めています。

推進連絡会では、各事業者からの報告内容を基に、利用者側からの意見や、事業者側の工夫・課題などに対して意見交換を行っています。

ここで出された意見などを踏まえて、計画を見直ししたり、また実施の際に配慮できる内容については整備に盛り込み、可能な限り反映するよう努めています。

短期に位置付けられているバリアフリー化事業については、平成二十二年年度を目標として整備が進められていますが、長期的課題も進捗

推進連絡会の構成

学識経験者・市民団体（老人クラブ連合会・福祉関係団体・自治会・43号芦屋住民の会・商工会）
交通事業者・公安委員会・道路管理者・公園管理者・建築物の管理者・関係行政機関から選出されたかた

に応じた推進連絡会を開催し、継続的な取り組みとして進めます。

点字ブロックの種類やその意味をご存じですか？

◆「点状ブロック」は注意を示します。

通常、「線状ブロック」の両端（横断歩道の手前・階段の手前・案内板の手前）や、交差する部分に設置されています。交差する場所や、いったん停止して、段差や扉を知らせるために設置します。



◆「線状ブロック」は、

移動の方向を示します。進む方向に対して真っすぐに設置されますので、それに従うことで容易に視覚に障がいのあるかたが移動できます。見えない状態で真っすぐ歩くのは難しく、壁や障害物に当たってしまうこともあります。そんな時に進む方向を真っすぐに示すために設置します。

目の不自由なかたが利用します。
点字ブロックの上にモノを置かないで！

《心のバリアフリーの推進》

市民1人1人が、高齢者・障がいのあるかた・子ども連れのかたなどの困難を自らの問題として認識し、そのかたたちの社会参加に積極的に協力する「心のバリアフリー」社会の実現を目指します。

● 段階的・継続的な取り組み

利用者・住民の参加や、段階的・継続的發展（スパイラルアップ）のプロセスを確立するための仕組みづくりを進めます。

